

トビイロウンカの飛来予測（第1報）

JPP-NETのウンカ飛来予測システム（トビイロウンカ、セジロウンカ）によると、5月17日～21日にかけて岐阜県へのウンカ類の飛来が複数回予測されました（図1及び図2）。

ウンカ類のうちトビイロウンカは、昨年本県で「坪枯れ」等により大きな被害をもたらしました。本種はもともと熱帯地域に生息しており、本州では越冬できませんが、大陸から下層ジェット気流に乗って移動して、飛来後には短期間で急激に増殖するため、吸汁による被害を引き起こします。

すでに奈良県では5月17日～20日にかけて予察灯への誘殺が確認され、5月26日に発生予察注意報が発表されました。また、徳島県においても5月17日に予察灯での捕獲が確認されたことから、5月24日に技術情報が発表されています。

県内の予察灯では5月27日現在、本虫の誘殺は確認していませんが、今後の発生には十分注意してください。

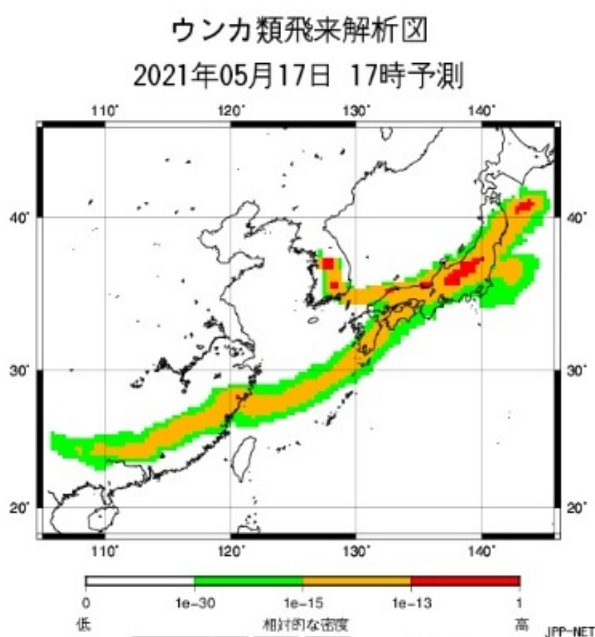


図1 令和3年5月17日午後5時の飛来解析図

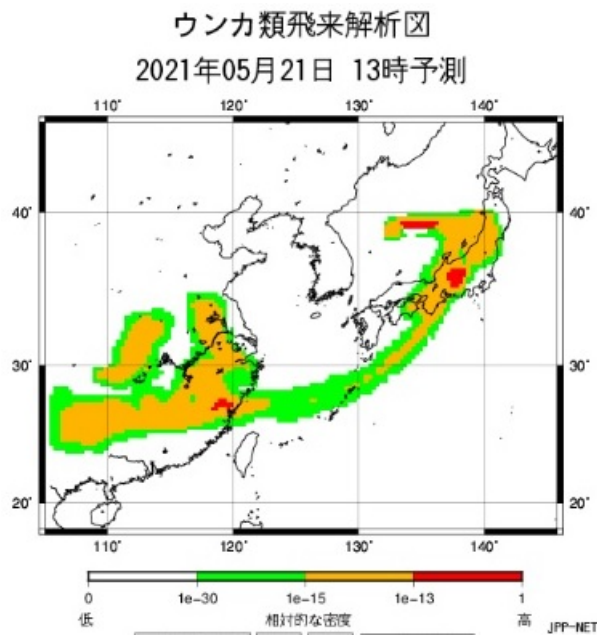


図2 令和3年5月21日午後1時の飛来予測図

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農林水産省 HP 農薬登録情報システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- ・当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病害虫防除所
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>